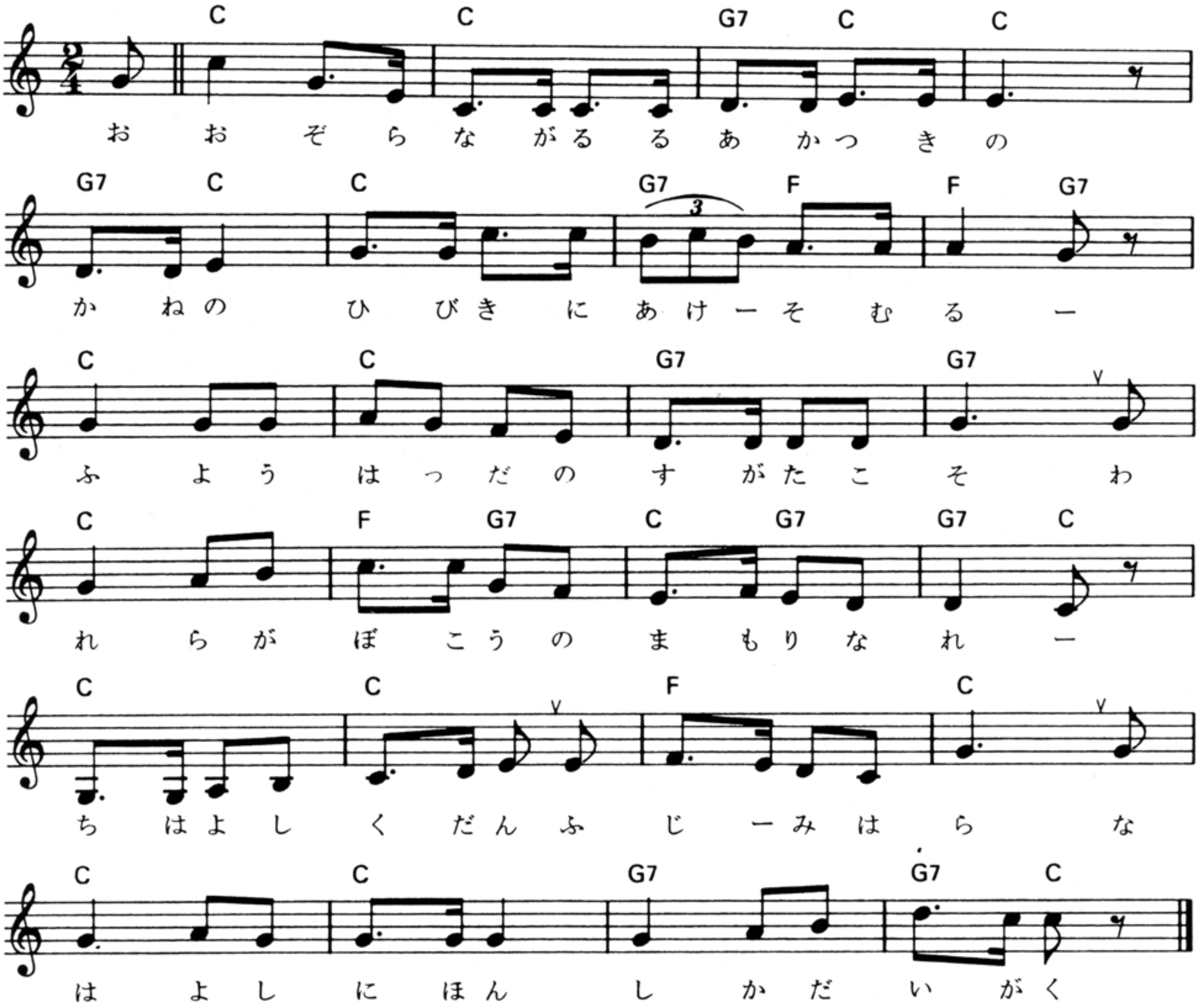
令和６年度（第94回）
日本歯科大学中国地区歯学研修会

「小児から高齢者までのライフステージに応じた口腔機能管理」

日　時　令和６年 10月５日（土）
場　所　ANA クラウンプラザホテル広島（広島県広島市）
主　催　日本歯科大学校友会
　　　　日本歯科大学歯学会
　　　　中国地区日本歯科大学校友会

日本歯科大学校歌

作詞：木暮英男／校閲：児玉花外／作曲：近藤栢次郎／編曲：前田俊明



一　大空流るる暁の
鐘の響きに明け初むる
芙蓉八朶の姿こそ
吾等が母校の守なれ
地はよし九段富士見原
名はよし日本歯科大学

二　高鳴る血潮の香をのせて
岸打つ文化の波頭
振い立つべき同胞の
甘幸もたらす学徒われ
地はよし新潟浜の浦
名はよし日本歯科大学

三　今さし出ずる朝日子の
平和と愛との輝きに
照りそう真紅の光こそ
吾等が母校の使命なれ
地はよし九段富士見原
名はよし日本歯科大学

令和６年度（第94回）日本歯科大学中国地方歯学研修会

日　時：令和６年10月５日（土）
会　場：ANAクラウンプラザホテル広島

１２：００～　受付開始
１３：００～　開会の辞　島根県日本歯科大学校友会副会長　岸　祐治
校歌斉唱
会長挨拶　島根県日本歯科大学校友会会長　江角　保弘
来賓挨拶
日本歯科大学校友会会長　渡邉　儀一郎　先生
日本歯科大学歯学会会長　影山　幾男　先生
１３：４０～１４：１０
学長講演「日本歯科大学は今」
日本歯科大学　学長　藤井　一維　先生

テーマ「小児から高齢者までライフステージに応じた口腔機能管理」

座長　島根県日本歯科大学校友会副会長　岸　祐治

１４：２０～１５：２０　講演Ⅰ
「小児期の口腔機能発達不全症の考え方と対応」
日本歯科大学附属病院　口腔リハビリテーション科
教授　田村　文誉　先生
（１５：２０～１５：３０　質疑応答）
（１５：３０～１５：４０　休　憩　）
１５：４０～１６：４０　講演Ⅱ
「口腔機能低下症への対処・管理」
日本歯科大学新潟病院　訪問歯科口腔ケア科
講師　吉岡　裕雄　先生
（１６：４０～１６：５０　質疑応答）
１６：５０～１６：５５　閉会の辞
１７：００～１７：３０　写真撮影（4F写真室）

懇親会
１８：００～２０：００　懇親会　：会場　22F　ルミエール
２０：００～２２：００　二次会　：会場　1F　ザ・ラウンジ

学長講演

「日本歯科大学は今」

藤井　一維
日本歯科大学　学長

本学には、生命歯学部と新潟生命歯学部の４年生全員が集う、富士見・浜浦フェスタがある。そこで、学生が興味深い発言をした。「日本歯科大学は日本の中心をおさえている」と。その意味は、太平洋側最大の都市、東京、そして日本海側最大の都市、新潟にあるからだと言った。

本学が世界最大の歯科大学というその理由は、２つの歯学部、大学院、短期大学、２つの附属病院、２つのクリニック、医の博物館である。充分なハードは整っている。

コロナ禍の期間、決して留まっていたわけではなく、その間も、大学は、ハード、ソフトの両面を充実させることに全精力を注いでいた。また、大学のみならず、JR 飯田橋駅舎も、その様相も大きく変化した。

生命歯学部は、その間、本館改修工事を進めた。目には見えない設備関係が主であったが、学生が登校できなかった期間で工事を完了することができた。一方、新潟生命歯学部も図書館の改修、自習室の新設等を行った。

現在、業界では、歯科技工士の人材確保対策事業等、歯科医療従事者の確保に向けた動きを始めた。本学は、その対象を子供達に向けたイベントを行っており、「ハノシゴトフェスティバル」等々、極端なアーリー・エクスポージャーを実施している。それを行うには行わざる得ない理由かあるからで、それを老舗の本学がやらずにどうするという話である。次年度から、新潟生命歯学部で進める、「new one」も、その一環である。

今回は、この「日本歯科大学の今」を、限られた時間ではあるが、校友の皆さまにご紹介する。

(MEMO)

講演Ⅰ

小児期の口腔機能発達不全症の考え方と対応

田村　文誉
日本歯科大学附属病院
口腔リハビリテーション科
教授

平成30年4月、「口腔機能発達不全症」が新病名として保険収載されました。令和２年度の診療報酬改定でその一部が改訂され、対象範囲が哺乳期からの乳児に広がりました。また検査として、口唇閉鎖力検査がありましたが、令和６年度の診療報酬改定では舌圧検査が追加され、より客観的な評価が可能となりました。口腔機能発達不全症とは、「食べる機能」、「話す機能」、「その他の機能」が十分に発達していないか、正常（定型的）に機能獲得ができておらず、明らかな摂食機能障害の原因疾患がなく、口腔機能の定型発達において個人因子あるいは環境因子に専門的関与が必要な状態、と定義されています。そしてその概念として、「小児期の口腔機能は常に、機能の発達・獲得（ハビリテーション）の過程にあり、各成長のステージにおいて正常な状態も変化し、機能の発達が遅れていたり誤った機能の獲得があればその修正回復を早い段階で行うことが重要である。器質的な異常や疾病によるものではなく、器質的に異常はないが機能の獲得が遅れている状態を見極め、正しい成長に導くための評価基準と考える。」と示されています。明らかな原因疾患のある小児の食べる機能の問題に対しては「摂食機能療法」を行い、一方、いわゆる定型発達児における口腔機能の問題に対しては、この「口腔機能発達不全症」の病名で管理・指導を行っていくことになります。口腔機能発達不全症の対応法は、その症状や問題によって様々であり、全てが訓練・指導、ではありません。

子どもの食の問題は様々であり、経過を見守っていれば自然に解決する場合もあれば、特別な介入が必要になる場合もあります。子どもの口腔機能発達には、子ども自身の成長過程における口腔や全身の変化であったり、本人の思いが関係していることが多くあります。さらには、養育環境や家庭環境が子どもたちの食べる行為に関連していることも多く、親子関係を含めた保護者への支援も求められます。従って、口腔機能発達不全症への対応は歯科医療の中だけで行おうとするのではなく、必要に応じて多職種、他分野との連携を図り、「生活を診る支援」として取り組むことが大切になります。

略　歴；

1989年　昭和大学歯学部 卒業
1991年　同　口腔衛生学教室入局
1997年　博士（歯学）取得（昭和大学）
2001年4月～2002年3月　米国アラバマ大学歯学部　補綴学・生体材料学教室留学
2004年　日本歯科大学　講師
2012年　同　口腔リハビリテーション科　科長
2013年　同　教授　現在に至る

(MEMO)

講演Ⅱ

口腔機能低下症への対処・管理

吉岡　裕雄
日本歯科大学新潟病院
訪問歯科口腔ケア科
講師

2016年に日本老年歯科医学会で「高齢期における口腔機能低下―学会見解論文2016―」が作成され、日本歯科医学会からはこれを元に「口腔機能低下症に関する基本的な考え方」が提示された。その中で口腔機能低下症は≪加齢だけでなく、疾患や障害など様々な要因によって、口腔の機能が複合的に低下している疾患。放置しておくと咀嚼障害、摂食嚥下障害など口腔の機能障害を引き起こし、また、低栄養やフレイル、サルコペニアを進展させるなど全身の健康を損なう≫疾患と定義され、保険病名として挙げられることになった。これまで我々歯科が、う蝕や歯周病の治療と予防、補綴治療の観点から守ってきた口腔機能は、研究データに基づいた根拠を元に新たな観点から明確に定義され、診療報酬が割り当てられ、「口腔機能」を管理することになった。

口腔機能低下は回復可能な状態とされ、そこから引き起こされる低栄養やフレイル、サルコペニアは口腔機能管理によっても防ぐことが可能である、と言い換えることが出来る。従来、歯科の管理領域として強く結びついていなかったそれらの状態から守ることで、介護予防の一端を歯科は担う責務を負った。高齢期の患者においては、う蝕や歯周病治療も単に歯科疾患管理とするのではなく、介護予防であるというところまで意識を向けられるかが必要な視点であると考えられる。さらに口腔機能低下症では口腔機能検査から低下した数値を上げるだけの訓練は、介護予防には大きな効果を得られないかもしれない。“噛みにくい”や“入れ歯が痛い”といった主訴ですら、口腔機能低下の一要因となっていることは述べるまでもない。要は、診療室に入ってくるときの様子や表情、声、問診表に書かれた文字、受付でのやり取りなども含めて、フレイルや身体機能低下の観察は始まり、そのうえで口腔内の状況を観察し、口腔機能検査を提案し実施していくことで、その先の指導や管理方法が見えてくることがある。

本講演では、高齢期における口腔機能管理の算定要件を満たすためだけではない、介護予防の観点から歯科でできる管理方針について、先生方と一緒に考えてみたいと思っております。

略　歴：

2007年3月　日本歯科大学新潟生命歯学部　卒業（96回）
2012年3月　日本歯科大学新潟生命歯学部口腔外科学講座　大学院修了　博士（歯学）
2012年4月　日本歯科大学新潟病院　総合診療科　助教
2014年4月　日本歯科大学新潟病院　訪問歯科口腔ケア科
2017年4月　日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック　勤務
2018年4月　日本歯科大学新潟病院　訪問歯科口腔ケア科　講師
2020年4月　日本歯科大学新潟病院　口腔ケア機能管理センター　センター長

（MEMO）

令和６年度日本歯科大学中国地区歯学研修会準備委員会

準備委員長

里見　貴史　（７９回卒）　日本歯科大学歯学会副会長

準備副委員長

石川　明子　（７０回卒）　日本歯科大学校友会常務理事
江角　保弘　（７１回卒）　島根県日本歯科大学校友会会長
椿田　直也　（６７回卒）　広島県日本歯科大学校友会会長
小坂　元泰　（６９回卒）　岡山県日本歯科大学校友会会長
近藤　帥典　（７１回卒）　山口県日本歯科大学校友会会長
宮﨑　　章　（６７回卒）　鳥取県日本歯科大学校友会会長

準備委員

岸　　祐治　（７４回卒）　島根県日本歯科大学校友会副会長
内田真由美　（７１回卒）　島根県日本歯科大学校友会副会長
影山　直樹　（７６回卒）　島根県日本歯科大学校友会専務理事
田中　良男　（７６回卒）　島根県日本歯科大学校友会理事
蒲池　悟郎　（８２回卒）　島根県日本歯科大学校友会理事
永田　宏之　（８９回卒）　島根県日本歯科大学校友会理事
吉田　　敬　（６７回卒）　島根県日本歯科大学校友会統括理事
福本　隆生　（６４回卒）　島根県日本歯科大学校友会監事

表 紙 写 真　「出雲大社」
旧暦 10 月は全国的には神無月ですが出雲地方では神在月と呼びます。全国の八百万（やおよろず）の神々が出雲の国に集まり、人生諸般の事などを神議り（かむはかり）にかけて決められるといわれています。男女を初めとする様々な人々の「縁」もこのときの神議りであるといいます。神在祭は 11 月 11 日～ 17 日です。

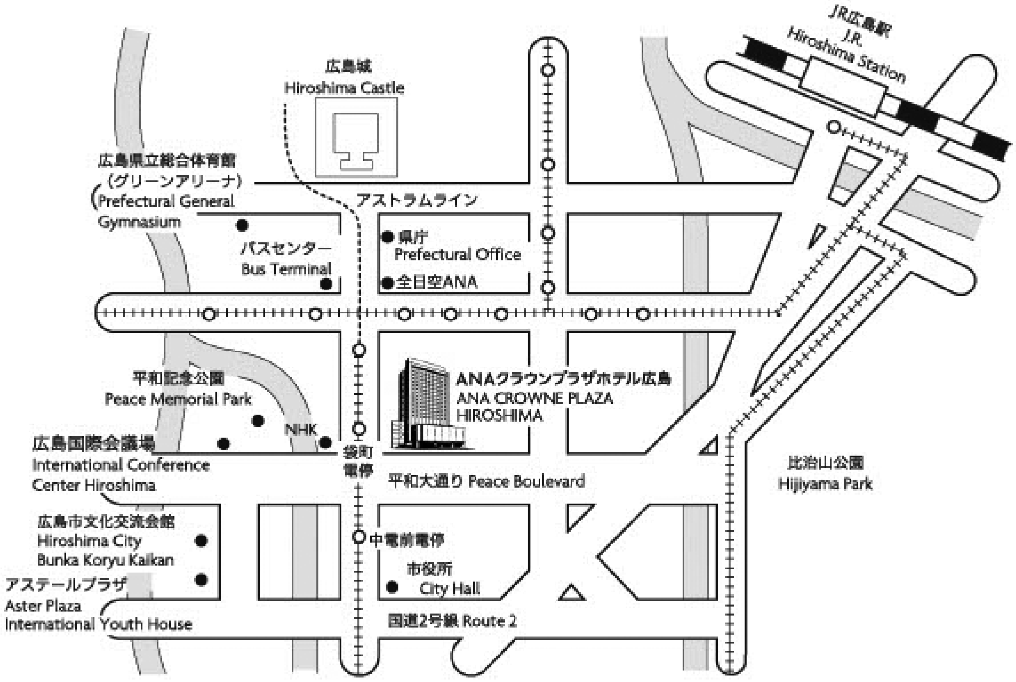
裏表紙写真　「稲佐の浜とうろこ雲」
出雲大社の西方約 1 km にある海岸で、国譲り、国引きの神話で知られる浜です。この浜では 11 月 10 日に全国の八百万の神々をお迎えする神迎神事（かみむかえしんじ）が行われます。この浜からの夕日は絶景で、日御碕（ひのみさき）とともに「日が沈む聖地出雲」は 2017 年に日本遺産に認定されました。

撮　　　影　島根県日本歯科大学校友会　田中良男（76 回卒）

交通のごあんない

Traffic Guide

広島空港よりバスセンターまでリムジンバス50分、バスセンターより徒歩12分。	50minutes from Hiroshima Airport to Bus Terminal by Limousine Bus, and 12minutes from Bus Terminal on foot.
J R広島駅より車で10分。	10minutes from J.R. Hiroshima Station by Car.
広島空港より車で50分。	50minutes from Hiroshima Airport by Car.
広島駅より路面電車で20分。（1番宇品行き　袋町下車）	20minutes from Hiroshima Station by Streetcar. （take a streetcar line 1 bound for Ujina, get off at Fukuromachi）
広島駅よりバスで15分。（Aホーム3番乗り場広島西飛行場行き　袋町下車）	15minutes from Hiroshima Staition by Bus. （take a green bus line 3 bound for Nishi-Hiroshima Airport, get off at Fukuromachi）
駐車場完備、100台収容。	Provided with Parking Space holding 100Cars.



ホテル所在地

〒730-0037　広島市中区中町7-20

TEL 0570-07-1640　FAX 082-241-9123

7-20, Naka-machi, Naka-Ku, Hiroshima, 730-0037, Japan

NIPPON DENTAL UNIVERSITY

THE ALUMNI SOCIETY